

健康一言アドバイス

『花粉症対策と治療』

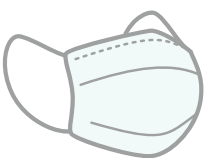
今や、国民の4人に1人がスギ花粉症といわれ、毎年2月から4月のこの季節が憂鬱な方も多いのではないのでしょうか。そんな花粉症に対する治療も、ここ数年で大きく変わりました。

春が近づくこの季節、厄介なのが花粉症ですね。今回は、「花粉症」の予防・治療についてご紹介します!!



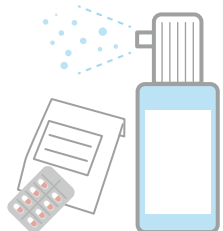
「予防が大切」

花粉症は、花粉が体内に入ると抗体という物質と結合してくしゃみや鼻水、鼻づまりが起きる反応です。外出を控えること、外出の際はけば立った衣服を避け、マスク、眼鏡をかけること、そして帰宅した時には衣服や髪をよく払うことが大切です。



「薬物療法」

鼻噴霧用ステロイド薬、経口抗ヒスタミン薬のほか、抗ヒスタミン薬の貼付剤も使用できるようになりました。抗ヒスタミン薬の中には眠気をきたすものがあり、自動車の運転などには注意が必要です。



「アレルゲン免疫療法」

薬物療法は症状を軽減させる対症療法ですが、免疫療法は根治療法です。治療は3年から5年続ける必要がありますが、治療をやめたあとも長期にわたり症状を抑えることができるとされています。これまで行われてきた皮下免疫療法に加え、2014年から舌下免疫療法が行えるようになりました。舌下免疫療法は、毎日舌下に治療薬を1分ほど含んで飲み込む治療法で、痛みがなく自宅でできるため頻回の通院は必要ありません。

耳鼻咽喉・頭頸部外科 科長 竹内 万彦

VOL.03

MINI

MEWS

つながる医療、見える未来

三重大学病院広報紙 ミニ ミュース

MIE 三重県立医療研究センター

TAKE FREE

2020.1

がん治療の後にも子どもを授かる可能性を残すにようせい

妊孕性温存療法



がん患者さんが将来子どもを授かることをあきらめなくてもいいように。三重大学病院は県内で唯一、妊孕性温存療法を実施。三重県も助成制度を立ち上げています。産科婦人科の前沢忠志 助教・外来医長に聞きました。

妊孕性温存療法とは、がん患者さんが将来子どもを授かるようサポートするものだそうですね。

はい。まず、妊孕性というのは、“妊娠する力”を意味する言葉です。妊孕性温存療法は、小児から若年のがん患者さんががんの治療を受ける前に、妊孕性に直結する精子や卵子などを身体の外に避難させて凍結保存し、将来の妊娠に備えておくためのものです。

がん治療と妊孕性にはどんな関係があるのですか。

がんは治療が進歩し、治る病気になってきました。しかし、治療のための抗がん剤や放射線、あるいは外科的な治療が妊娠に不可欠な精巣や卵巣をはじめとした生殖機能の低下や不全を招くことも多く確認されています。その場合、治療後に子どもを授かることは難しくなります。例えば子どものがん患者さんであったとしても、そうしたリスクを先のこととしてただ負うのではなく、先回りして対応しようとするのが妊孕性温存療法です。

具体的にはどのような方法が取られるのでしょうか。

最も多いのは、採取した精子や卵子、もしくは胚の凍結保存です。将来的にがんの治療が終わり、結婚し、子どもを持ちたいと思うときがきたら、それらを融解し、体外受精において使用します。排卵のない女兒や血液疾患などで治療を急ぐような女性では、卵巣を片方摘出して凍結し、将来的に体内に戻して、卵胞の発育がみられたら、妊娠を目指していくという方法をとる場合もあります。

どんな患者さんでも受けられるのですか。

予後が比較的良好なことが基本です。精子や卵子自体ががんに侵されることはないため、がんの種類はあまり関係ありません。ただ、卵巣凍結の場合は、将来的に体内に戻すため、その卵巣組織にがん細胞が認められないか、またはがん治療によりその状態まで持っていける見込みのある方が適応となります。日本では代理出産が認められていないため、子宮を摘出するような場合は適応外となってしまいます。

がん治療と妊孕性温存療法は、両立できますか。

がん治療を遅らせるなど、治療自体に影響を与えないというのが妊孕性温存療法の大前提です。中でも、採取を含め2週間前後という



最も長い時間を要する卵子凍結の場合は、全体的な判断が必要となります。例えば、乳がんの場合だと、手術の後、病理結果を待って抗がん剤治療を始めるまでの期間が通常1か月程度なので、その間に卵子凍結による妊孕性温存療法を行うという場合もあります。逆に時間的猶予がない場合は、すぐに実施できる卵巣凍結が選択肢となります。

別の病院からも三重大学病院に相談できるのでしょうか。

県内医療施設の主治医に相談いただければ、当院の高度生殖医療センターにつながってくれます。もちろん、患者さんが直接当センターに連絡していただいても対応可能です。相談だけでも大丈夫です。

妊孕性温存療法について院外での活動も行っていますね。

妊孕性温存療法については、知らない方がまだまだ多くいます。「あの時知ってれば」ということがないよう、がん診療病院での講演会や市民公開講座などを開催したり、パンフレットを配布するなど、多くの方に知っていただく活動を行っています。また、この治療は、産婦人科医だけでなく、がん専門医や各領域の専門家との連携が不可欠です。院内での診療科を超えた勉強会や、院外のがん診療科との連携構築にも力を入れています。

三重県が「がん患者妊孕性温存治療費助成事業」をスタートさせました。

妊孕性温存療法は、保険適用ではありません。女性の場合は、最低でも20万円程度必要ですし、毎年保存のための費用もかかります。そのため、経済的な理由から、思いはあってもあきらめるという方が少なくありませんでした。そこで、当院で滋賀県にあった助成制度の先例を調査したり、当院の治療に関する様々なデータを分析しながら、県のご担当者や助成制度の必要性について議論を重ねてきました。三重県産婦人科医会や市議会議員の方々にもご協力いただき、県のご理解を得て、今年度、三重県で妊孕性温存療法の助成制度が実現しました。これは対象となる患者さんの大きな支えになると思います。

この治療を考える患者さんやご家族へのメッセージを。

妊孕性温存療法は、大好きな人と子どもに囲まれたささやかでも幸せな時間を実現する可能性を残すためのものです。必ず希望に応えられるとは限りませんが、できるだけ多くの方の思いをかなえられるよう、頑張っております。がんの治療で子どもを授かることをあきらめなくてもよいように、少しでもお手伝いが出来れば、これ以上の喜びはありません。

PROFILE | 前沢忠志:助教・外来医長

趣味は人形の洋服作り、好きな食べ物は餃子。産婦人科医を目指したのは、新たな生命の誕生に関われるから。夢は、生殖分野の診療・教育・研究を一貫して行えるシステムを三重県に作ることに。



編集後記
みなさん、新しい年が始まりましたね。
2020年の目標は立てましたか？
2020年は、東京でオリンピックが開催されますね。今からワクワクしています！観戦に行かれる方や、オリンピックに影響されてスポーツを始める方もいるのではないのでしょうか？
適度な運動、栄養バランスの整った食事、心をかけ今年も一年、病気に負けない体を作り乗り切りたいですね！

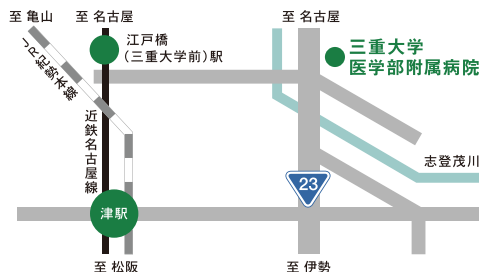
国立大学法人【特定機能病院】
三重大学医学部附属病院

三重大学病院広報紙「ミニ ミュース」vol.3 2020年1月発行 無料

TEL:059-232-1111 (代表)

発行:三重大学医学部附属病院 〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地 http://www.hosp.mie-u.ac.jp/

本紙掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。本紙に関するご意見・ご感想は大学病院広報センターへお願いします。TEL:059-231-5554



EVENT INFORMATION

- 2月のイベント
- 3月のイベント



詳細は、各イベントのお問合せ先までご連絡の上、ご確認下さい。
イベント・公開講座についての最新情報は、病院ホームページにてご案内しています。

2019.2.14 金

無 料

第81回 オーシャンビューコンサート

「耳にした瞬間、懐かしい思い出がいっぱい蘇ってくる」そんなアコーディオンの音色に触れるひと時はいかがですか？
是非、お越しください。(入退室自由)

時 間	16:00～
場 所	病棟12Fレストラン 四囀折々
出 演	三重アコーディオン協会

2020.2.15 土

無 料 要予約

市民公開講座 アレルギー週間

アレルギーについて学びませんか？関心のあるならどなたでもOK！

時 間	14:00～16:00
場 所	三重大学医学部 臨床第二講義室
定 員	200名(要事前申込／先着順)
問合せ	三重大学病院 医学・病院管理部総務課 秘書広報係 TEL:059-231-5769(平日9:00～17:00受付)

2020.3.18 水

無 料 要予約

はりきゅう教室(テーマ:自律神経)

鍼灸治療に興味がある方。当院の鍼灸師がわかりやすくお話しします。

時 間	14:00～14:30
場 所	外来棟4階会議室B \ ツボ押し体験もあります！/
定 員	15名(完全予約制)
問合せ	麻酔集中治療学 TEL:059-231-5031 (受付時間:9:00～16:00 土・日・祝を除く)

この科の強みは、「高い技術力」と「信頼の実績」です。これをもとに、ロボット(ダ・ヴィンチ)手術をはじめ、患者さんの身体の負担を軽減できる低侵襲外科治療の導入を進めます。
また、肝胆膵の悪性腫瘍における化学療法や放射線治療などを併用した集学的治療にも力を入れていきます。最も難治性が高い膵臓がんについては、すでに当院は化学放射線治療で国内有数の実績を持っています。が、治療効果をより高める集学的治療の研究を進め、地域の、そして世界の医療に貢献できるよう情報発信していきます。



1995年に三重大学医学部を卒業。
米国フロリダ大学に2年間留学し、脳死肝移植などの世界最先端技術を学ぶ一方、東紀州地域にも3年弱勤務しました。最先端外科治療と三重県内の地域医療の両方に精通しているのが、自分の強みだと思っています。
昨年4月から、大学時代に所属していた硬式テニス大会「OB会」に向けて早朝練習にも参加し、学生時代よりも熱心に(?)に取り組んでいます。(テニスは怪我をしない程度に頑張ります。)

PROFILE PROFILE

新たに組みみたいこと

患者さんへのメッセージ

NEW 新教授のご紹介

水野 修吾 教授
肝胆膵・移植外科

中部地区に3ヵ所しかない脳死肝移植認定施設の一つであるとともに、肝胆膵外科高度技能専門医*が中部地区最多の6名在籍し、高難度手術の件数が年間120件を超えるなど、豊富な治療実績を誇る肝胆膵・移植外科。

その科長でもある水野新教授とは



どんな人？

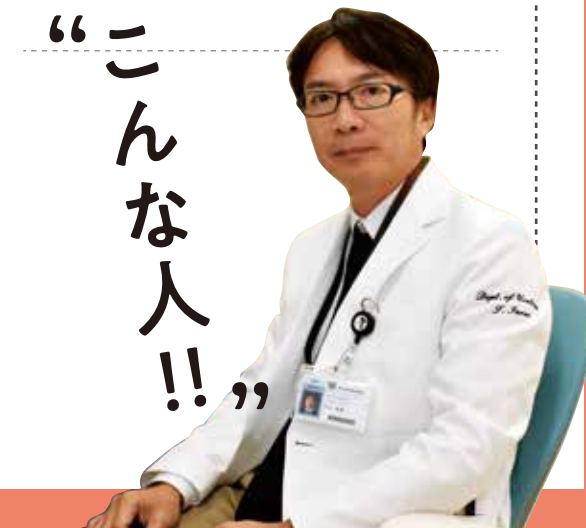
*日本肝胆膵外科学会が、手術ビデオ審査に基づき肝胆膵外科高難度手術を安全かつ確実に行う能力があると認定した医師

NEW 新教授のご紹介

井上 貴博 教授
腎泌尿器外科

県内、そして当院でもいち早く最新のロボット(ダ・ヴィンチ)手術を行ったのは、当腎泌尿器外科。前立腺がん、腎細胞がんでの適応実績は国内トップクラスを誇ります。また、県内唯一の腎移植手術施行機関でもあります。

その科長でもある井上新教授とは



“こんな人!!”

当科は、尿路男性生殖器に関わるがんを対象としたダ・ヴィンチ支援手術をはじめ、前立腺肥大症のPVP(レーザー)手術、女性骨盤脱での腹腔鏡手術の実績が非常に豊富です。この強みを生かし、患者さんの体にやさしく術後回復が早い低侵襲の腹腔鏡やロボット支援手術を安全であることももちろん、さらに幅広い疾患に対し行える体制を強化していきます。
研究面では、新たな診断や治療につながる基礎研究や最先端の治療にこれまで以上に取り組みたいと考えています。また、人材育成においては、若い医師が積極的に世界にアピールできる環境の整備や、医師・人としての成長を促す人材交流などを進めます。



高校・大学と弓道部に所属していました。趣味は読書(小説から新書まで幅広く)。ゴルフも一年半前に始めましたが、最近はどうもなかなか時間がとれていません。何よりほっとする時間は休みの日に息子と遊ぶことです。単身赴任中のため実はこれもなかなかありません。心がけていることは、「随所に主となれば立処皆真なり」、すなわちどんな立場・状況におかれても全力を注ぐことです。

PROFILE PROFILE

患者さんへのメッセージ

できる限り患者さんの訴えに耳を傾けることを大切に行っています。病気に対して医師がお手伝いできることは微々たるものかもしれませんが、少しでも当科を受診して良かったと思っただけのように全力で対応します。

ステキな名前をありがとう！

三重大学病院のキャラクターの名前が決定しました！

投票にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

祝

クマ トリ
ニミ ニミ
ー ツ
ベ ビ
パッ ト